

2014/2015 年海氷期のオホーツク海の海氷の広がりが過去最小

2014/2015 年海氷期のオホーツク海の最大海氷域面積(もっとも広がった時点の面積)は、1970/1971 年の統計開始以来最小となる見込みです。

オホーツク海の海氷域面積は、2015 年 2 月 10 日以降、1970/1971 年の統計開始以来最小で推移しています。2 月 28 日に海氷域面積が 67.48 万平方キロメートルに達して以降、海氷域面積は減少に転じており、今後も海氷域の大幅な拡大が見込まれないことから、これが 2014/2015 年海氷期における最大海氷域面積(もっとも広がった時点の面積)となる見込みです(別紙 図 1、図 2)。この値は、これまで最大海氷域面積が最も小さかった 1983/1984 年の 85.81 万平方キロメートルを大きく下回り、1970/1971 年の統計開始以来最小です(別紙 表 1、図 3)。

オホーツク海の最大海氷域面積は長期的に減少傾向にありますが、今期、海氷域面積が最小となった要因として、オホーツク海では 1 月以降、この時期に卓越する北西の風が弱く海氷域が拡大しにくかったこと、また、当該海域の気温が平年より高い状態が続き、海氷域が生成しにくかったことが挙げられます。

なお、今海氷期は、2 月 10 日から 15 日頃にかけて千島近海に停滞した低気圧の影響で海氷域面積が一時的に減少し、その時期としては過去最小となりました。このため、気象庁は 2 月 19 日に報道発表及び「海洋の健康診断表」の臨時診断で、オホーツク海の海氷の状況をお知らせしたところです。

気象庁ホームページの「海洋の健康診断表」では、オホーツク海の海氷に関する最新の状況と予想を発表していますので、あわせてご利用ください。

「海洋の健康診断表」海氷に関する診断表、データ

http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/shindan/index_seaice.html

本件に関する問合せ先:

地球環境・海洋部 海洋気象情報室

電話 03-3212-8341(内線 5156)

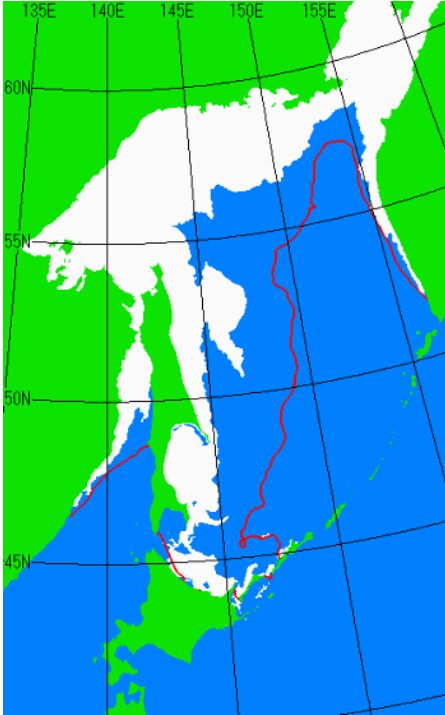


図1 2015年2月28日のオホーツク海の海氷域(白い部分)
赤線は平年の海氷縁の位置を示す。

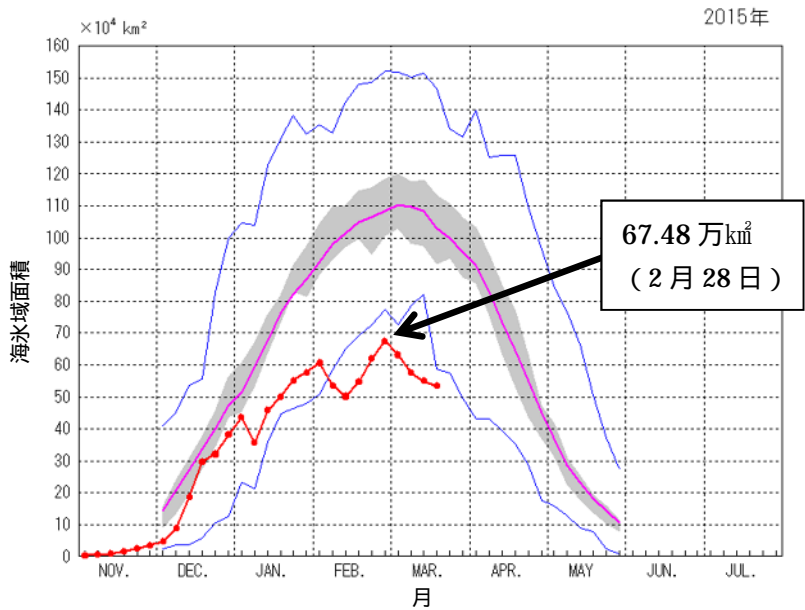


図2 2014/2015年海氷期のオホーツク海の海氷域面積の推移
赤線は今季の海氷域面積、ピンクの線は平年の海氷域面積、影の部分は「平年並」の範囲、青線は過去最大・最小を示す。統計開始は1971年。

表1 オホーツク海の最大海氷域面積の小さい上位5位

順位	最大海氷域面積 (万平方キロメートル)	シーズン
1位	67.48	2014/2015
2位	85.81	1983/1984
3位	90.30	2005/2006
4位	91.13	2004/2005
5位	94.24	1990/1991

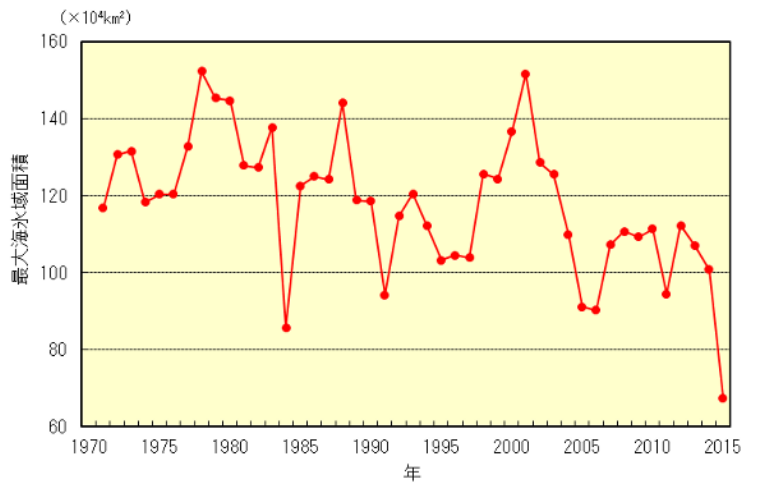


図3 オホーツク海の最大海氷域面積の長期変化
赤線は各年の最大海氷域面積を示す。